

# 「レポート力」アップのための情報探索入門 2014 第4章

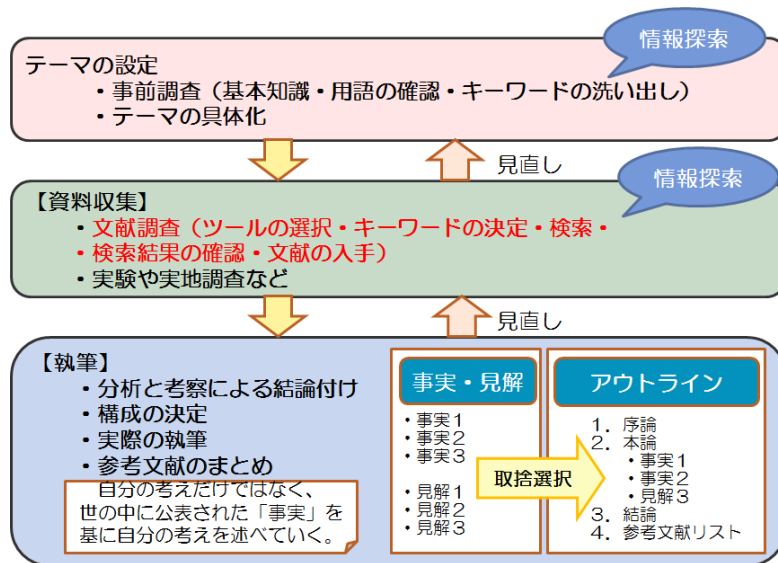
著者	東北大学附属図書館 図書館情報教育支援WG,
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10097/57085">http://hdl.handle.net/10097/57085</a>

## 第4章 もっと素材を集めよう(2)新聞・統計資料

### ■ 本章の目的

ここでは、テーマに関する特定の出来事（新聞記事）や、客観的なデータ（統計）を集める方法を学習します。初めは難しく感じるかもしれませんが、探すコツや資料の特徴を理解できれば、幅広い情報から多角的な知識を得られるというメリットがあります。

### レポート作成の手順



（第1章 1.3 レポートの作成手順 より）

## 1. 新聞資料

### 1.1 新聞とは

一般的に「新聞」といえば、毎朝届くものを想像しますね。日々世の中の出来事を伝える新聞は、その情報を蓄積することによって、ある出来事の実事確認や過去から現在までの世相、また、ある言葉の使われ方などを調べる有用なツールになります。

ここでは、新聞資料の特徴と、オンラインデータベースを使った記事の探し方について学びます。

新聞といっても、様々な発行形態や内容、収録メディアのものがあり、それぞれに特徴があります。新聞記事を探す場合は、まずその特徴を知っておくことが大切です。

#### (1)種類










新聞には、大きく分けると、日本全国に販売拠点を持つ「全国紙」と、特定地域で販売される「地方紙」の2種類の発行形態があります。

また、その内容によって、様々な分野の内容を偏りなく掲載している「一般紙」、特定の分野に特化した紙面で構成されている「専門紙」、ある組織や団体の広報用として発行される「機関紙」に分けられます。その他、外国語や点字の新聞など、様々なものがあります。

	全国紙	地方紙 (ブロック紙)
一般紙	朝日新聞、毎日新聞、 読売新聞、産経新聞など	河北新報、山形新聞、 石巻日日新聞など
専門紙	日本経済新聞、 日刊工業新聞など	中部経済新聞、 デイリースポーツなど
機関紙	(大学、政党、宗教団体等による新聞) 東北大学新聞、しんぶん赤旗、聖教新聞など	
他言語紙	The Japan Times、朝鮮日報、点字毎日など	

## (2)形態

新聞本紙は紙質が悪いため保存に向いておらず、また、記事検索用の索引もありません。そのため新聞は、さまざまなメディアに変換して提供されています。

メディアの種類	特徴
 本紙（原紙）	速報性が優先。メディアの保存や記事検索ともに不向き。
 冊子体（縮刷版）	本紙を縮小して月単位で印刷した保存用の冊子体。記事索引がついているものもある。  
 マイクロフィルム	本紙を縮小撮影したもの。保存によいが、閲覧には専用機器が必要。検索には他のツールが必要。 
 CD・DVD	マイクロフィルム等 비해記事検索に優れるが、写真や広告など本紙全面は収録していないことが多い。
 オンラインデータベース	日々更新される。検索機能が充実しており、幅広い年代の記事を検索することが可能。学内のネットワーク内であればどこからでも利用できる。
 無料ウェブサイト	最も速報性が高いが、本紙紙面とは別記事である。過去の記事を参照できない場合も多い。

## 1.2 新聞活用のメリット

新聞はその時々出来事を日々発信し続けるメディアです。そのため、その出来事がどのような社会背景のもと起きたのか、また当時の人々にどのように受け止められたのかを知ることができます。また、ある人物や事柄についての記事を追うことで、より深く対象を理解することもできるでしょう。研究結果がどのように実用化され、また社会に影響を与えているのかを知るのにも役立ちます。特定業界の情報は「専門紙」を、地域の情報は「地方紙」を活用することで、図書等では扱われないような細かい情報も収集が可能になります。

### 1.3 新聞の特徴と注意点

新聞は他の資料とは異なる特徴を有し、非常に有用である一方で、その特徴故に利用する際に注意すべき点もあります。

時事性	過去から現在にかけての多様な社会情報を日々記録
	最近話題の出来事や過去の世相などの探索に有効な情報源
速報性	情報を広く報道するために印刷物として記録し、いち早く出版
	事実関係の信憑性→数日後の紙面確認、複数メディアによる検証
多様性	新聞社や記者により、問題への姿勢や事件の見解などに相違
	出版形態が様々で内容が異なる場合がある

ウェブの普及と情報環境の変化により、新聞の時事性や速報性の位置付けは変化しつつあります。事件などの情報は、新聞よりも、場合によってはテレビやラジオよりも早く、インターネットやソーシャルメディアを通じて知ることができます。そして、その情報は後日も検索可能な上、新聞のような休刊日もありません。かつて高い時事性と速報性を誇り、その事実は変わらない新聞ですが、情報環境が日々変化する現在、情報を利用する側が、その目的や状況に応じて使い分けていく柔軟性が必要となっています。

また、新聞の多様性の1つの例として、ウェブ上の記事と本紙の記事の違いがあります。多くの新聞社は、ウェブ上で速報記事を提供しています。新たな事実が判明次第、記事が追加されるので、速報性に非常に優れています。これらの記事を基に本紙の記事が作成されますが、詳細な解説が追加されていたり、文章表現や画像が異なっていたりしますので、区別して利用する必要があります。

ウェブの記事	本紙の記事
 <p>朝日新聞 DIGITAL</p> <p>ニュース スポーツ カルチャー 地域 特集・オピニオン</p> <p>東京五輪招致 円安 台風・豪雨 三重・女性経営 手洗き感染</p> <p>2019年9月5日 19時19分</p> <p>「東京は安全」汚染水問題、釈明に迫られる招致委</p> <p>【フエノアイレス＝阿久津篤史】2020年東京五輪招致委員会は4日、国際オリンピック委員会（IOC）総会のあるブエノアイレスで初めて記者会見を開き、東京電力福島第一原発の汚染水漏れ事故について、竹田恒和理事長が「現在の東京は水、食物、空気についても完全に安全」と釈明に追われた。また、開催都市を選ぶ7日の総会の投票直前のプレゼンテーションで、安倍晋三首相がこの問題について説明する見通しも明らかにした。</p> <p>◆特集：2020夏季五輪招致</p>	 <p>汚染水事故釈明に懸命 現地会見 五輪招致委「東京は安全」</p> <p>2020年東京五輪招致委員会は4日、国際オリンピック委員会（IOC）総会のあるブエノアイレスで初めて記者会見を開き、東京電力福島第一原発の汚染水漏れ事故について、竹田恒和理事長が「現在の東京は水、食物、空気についても完全に安全」と釈明に追われた。また、開催都市を選ぶ7日の総会の投票直前のプレゼンテーションで、安倍晋三首相がこの問題について説明する見通しも明らかにした。</p> <p>【フエノアイレス＝阿久津篤史】2020年東京五輪招致委員会は4日、国際オリンピック委員会（IOC）総会のあるブエノアイレスで初めて記者会見を開き、東京電力福島第一原発の汚染水漏れ事故について、竹田恒和理事長が「現在の東京は水、食物、空気についても完全に安全」と釈明に追われた。また、開催都市を選ぶ7日の総会の投票直前のプレゼンテーションで、安倍晋三首相がこの問題について説明する見通しも明らかにした。</p>

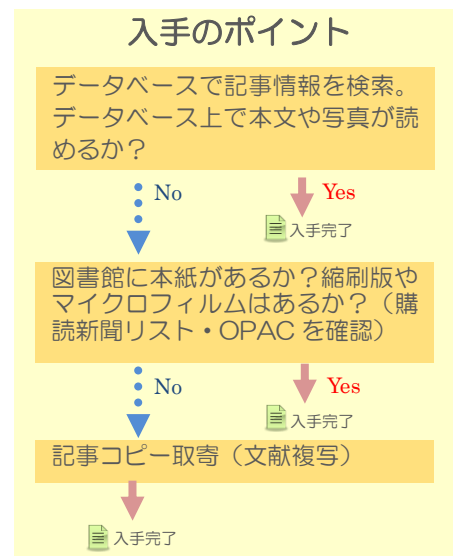
左：朝日新聞社。「朝日新聞デジタル」。<http://www.asahi.com/olympics/articles/TKY201309050019.html>, (参照 2013-9-5)。

右：朝日新聞。2013年9月5日、朝刊、37ページ。聞蔵II for Library, (参照 2013-9-6)。

## 2. 新聞記事の探し方

### 2.1 新聞記事を探す手順

新聞記事を検索・入手するには、まず新聞を特定することが必要です。検索対象が定まったら、目的にあったツールで検索を行います。主要な新聞については、記事のデータベース化が進んでおり、検索と同時に記事を入手することができますが、データベースで利用できない記事や主要紙以外の新聞は、縮刷版などを OPAC で探して利用します。



### 2.2 新聞記事検索の特徴と注意点

以下は、主要紙について本館の所蔵状況と本学で利用できるデータベースをまとめたものです。形態によって所蔵している（利用できる）範囲が異なるため、必要な記事の年代や特徴（写真の有無など）に応じて使い分ける必要がありますので、注意してください。

形態/新聞名	朝日新聞	毎日新聞	読売新聞	河北新報	日本経済新聞
本紙	過去3年分	過去3年分	過去3年分	過去3年分	過去3年分
縮刷版	1930-最新	1950-最新	1959-最新	-	1949-最新
マイクロフィルム	1984-2001 (宮城版)	1872-1966 1956-2001 (宮城版)	1956-2001 (宮城版)	1954-2013	-
CD-ROM	『CD-HIASK』 1985-2001 『戦後50年朝日新聞 見出しデータベース』 1945-1995	-	『明治の読賣新聞』 『大正の読賣新聞』 『昭和の読賣新聞』	-	『日経全文記事 データベース』 1990-2008
オンラインデータベース	『聞蔵Ⅱビジュアル』 1879-最新	『毎日 News バック』 1872-最新	『ヨミダス歴史館』 1874-最新	『KD』 1991-最新	『日経テレコン21』 1876-1961, 1981-最新
無料ウェブサイト	朝日新聞デジタル	ニュースサイト 「毎日新聞」	YOMIURI ONLINE	KOLNET	日本経済新聞 電子版

#### 検索ツールの多様性

- ◇新聞社ごとにデータベースが分かれている場合が多い
- ◇オンラインデータベース、無料ウェブサイト、CD・DVD、冊子体

創刊号から検索可能となっているものもあり、オンラインデータベースには非常に多くの記事が収録されていますが、収録されているすべての記事を同じように利用できるわけではありません。注意が必要です。

<b>オンラインデータベース①</b> <b>【切り抜き画像】</b>	<b>オンラインデータベース②</b> <b>【テキストのみ】</b>
<p>新しい記事は、テキストだけでなく、新聞に掲載されたとおりの切り抜き画像を見られます。</p>	<p>古い記事は、テキストのみ利用できます。写真や図があっても表示されませんので、必要に応じて縮刷版を参照しましょう。</p>
	
<b>オンラインデータベース③</b> <b>【紙面全体画像】</b>	<b>※無料ウェブサイト</b>
<p>さらに古い記事は、紙面全体から自分でどこに記事が載っているかを探します。</p>	<p>ウェブサイトにより表示形式は様々ですが、オンラインデータベースには収録されていないものもあります。また、時間の経過により閲覧できなくなるページもあります。</p>
	

① ③: 開蔵 II ビジュアル for Library (①2013年9月8日 ②1984年8月6日 ③1935年2月6日)

右下: 朝日新聞デジタル <http://www.asahi.com/sports/update/0907/TKY201309070323.html?ref=reca> (参照 2013-10-10)



オンラインデータベースには、ウェブサイトの記事ではなく、実際に発行された本紙の記事が収録されていますが、本紙の地域差を考慮する必要があります。

大量に発行され全国各地に配達される全国紙は、途中で記事の差し替えが起こることがあります。また、夕刊の有無にも地域差があり、そのため、同一出版日でも地域により記事内容が異なる場合があります。検索ツールの収録記事は、原則として最終版を基にしていて、図書館などで実際に目にした本紙の記事とは異なる記事が収録されている可能性がありますので、注意してください（版の表示は新聞本紙上部に記載されています）。

例：2011年3月15日 朝日新聞朝刊 1ページ		
本紙（宮城・第12版）	本紙（東京・第14版）※最終版	オンラインデータベース（東京・第14版）
 <p>写真「爆発し、煙を上げる福島第一原発3号機」(福島中央テレビ撮影)</p>	 <p>写真「水素爆発が起きた福島第一原発 3号機」(NHKニュースより)</p>	 <p>本紙に掲載されている NHK ニュースの写真がオンラインデータベースの記事には掲載されていない。</p>

海外の通信社から入るニュースや寄稿文など、データベース化への利用許諾が得られていないため、オンラインでは確認できない本文・画像もあります。その場合は、面名を確認し、図書館で本紙や縮刷版を利用しましょう。

#### オンラインデータベースの特徴

- ◇年代によって記事の表示方法が異なる（本文のみの場合もあり）
- ◇データベースに収録されているのは最終版の記事
- ◇データベース化されていない記事もある
  - ・当日分の記事（※データベースによっては、当日分も掲載されている場合がある）
  - ・データベース化の許可がとれていない記事
  - ・広告やテレビ・ラジオ面
  - ・1980年代半ば（昭和50～60年）以前の地方本社・支社・地域版

新聞は、日々刻々と変化する世界の情勢を短期間で編集し、記事にしているため、使用される語句や用語もその時々で異なる場合があります。最適な検索結果が得られるよう検索語を工夫してみましょう。

#### 記事検索のポイント

- ◇紙面の都合上、略語が使用されている場合が多い
- ◇新聞社によって専門用語や時事用語の表記が異なる場合がある
- ◇続報や誤報を考慮して検索をする

## 2.3 東北大学で利用できる新聞記事データベース

東北大学で利用できる新聞のオンラインデータベースは、無料のものも含めて「データベース・ツールインデックス」にまとめられていますので、こちらから利用してください。

## 2.4 新聞記事を探してみよう

### 例：聞蔵Ⅱビジュアル（朝日新聞記事データベース）

1879年（明治12年）の創刊号から今日までの130年を超える紙面から約1300万件の記事が検索できる日本国内最大級の新聞記事データベースです。1945年～1984年の記事は紙面イメージで、2005年11月以降の記事は切り抜きイメージでの閲覧が可能です。朝日新聞社発行の『週刊朝日』や『AERA』の記事も収録されており、『知恵蔵』や『人物データベース』も検索可能です。

聞蔵Ⅱビジュアル

朝日新聞 1885~週刊朝日・AERA | 朝日新聞縮刷版 1879~1989 | 知恵蔵 | 人物 | 歴史写真 アジア・戦前戦中 | アサヒグラフ 1923~1945

検索モード: ☒ シンプル検索 ☐ 詳細検索 ☐ ナビ検索

対象紙誌名: ☐ 朝日新聞 ☐ AERA ☐ 週刊朝日

キーワード:  検索実行 クリア

AND OR NOT 関連キーワード参照

発行日: ☒ 3か月 ☐ 6か月 ☐ 1年 ☐ 全期間

年:  月:  日:  から 年:  月:  日:

リスト表示: 件数: 20 順序: ☒ 新しい順 ☐ 古い順

検索したい期間を指定年代によって使うページが異なるので注意。1984年以前の記事を探す場合は「朝日新聞縮刷版」のタブをクリックする。

ユース 五輪 第1回

AND OR NOT

※グリーンで表示された記事は著作権などの関係で本文を表示できません。  
※聞蔵Ⅱテキストでご契約のお客様は切り抜きPDF(関連素材)が表示されません。

総件数: 100件 通し番号: 61 ~ 80

No.	発行日	朝夕刊	面名	ページ	文字数	写真図表	関連素材
00067	2008年02月22日	朝刊	3社会	037	00195文字		
	第1回ユース五輪、シンガポールで開催						
00068	2008年01月22日	朝刊	スポーツ2	016	00158文字		
	2都市が最終候補 第1回夏季ユース五輪						
00069	2007年10月31日	朝刊	スポーツ1	017	00224文字		
	第1回夏季ユース五輪、9都市が開催概要を提出						
00070	2007年04月26日	朝刊	2社会	038	00285文字		
	「ユース五輪」2010年創設 IOC、14~18歳対象						
00071	2005年07月04日	朝刊	東特第10	027	05983文字	あり	
00072	歌声の「五輪」選手、プロアマ交流「世界合唱の祭典」						

切り抜き  
イメージ

聞蔵Ⅱビジュアル  
for Library  
2007年4月26日

### 「ユース五輪」 2010年創設

【北京—阿久津憲史】国際オリンピック委員会（IOC）は25日、当地で選手会を開き、14~18歳の選手を対象とした「ユース五輪」を創設することを承認した。7月の総会で決定する。

#### IOC 14~18歳対象

発表したログ会長は「エリート選手の競争の場というより、スポーツを通じた教育に重点を置きたい。友情や健全な肉体、社会とのかわりななどの五輪の価値を学んでほしい」と目的を語った。  
夏季は10年、冬季は12年に第1回大会を開き、ともに五輪同様4年ごとに開催する。開催都市は、今後決める。  
期間は1週間から10日程。実施種目は五輪種目を基本とし夏季は3千人、冬季は1千人を超えない規模になるという。

データベースで本文や写真が掲載されていない場合には、図書館で本紙や縮刷版に記載されている記事を利用します。

本紙の購入状況は OPAC 上部の「購読新聞リスト」で確認できます。保存期間は各館により異なり、専門紙などは別途購入している場合もありますので、各館のカウンターにお問い合わせください。縮刷版、マイクロフィルム、CD、DVD の所蔵は OPAC で新聞名から調べることができます。



## ■購入新聞リストへのアクセス



東北大学附属図書館 OPAC  
TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY OPAC

購読新聞リスト

本分館・研究所図書室の2012年の本紙所蔵状況を下表にまとめました。保存期間は各館により異なりますが、おおそ半年から1年程度です。  
専門紙などは各研究科等で購入している場合もありますので、図書館カウンターに探索法を問い合わせてください。  
「※」がついているデータベースは学内でのみ利用可能です。

タイトル	データベース	本館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	金研図書室
朝日新聞	朝日II* asahi.com	○	○	○	○	○	○
科学新聞				○			○
河北新報	KD*	○	○	○	○	○	○
産経新聞		○					
スポーツニッポン					○		
スポーツ報知		○					
日刊スポーツ		○	○			○	
日刊工業新聞		○			○		○
日経産業新聞	日経テレコ	○			○		○

新聞の特定と蔵書検索には、「国立国会図書館サーチ」(<http://iss.ndl.go.jp/>)が有用です。様々な新聞情報を収録しているため、どんな新聞が存在するのかを探することができます。また、国内の大学図書館、公共図書館などの所蔵を機関ごとに一覧で確認することも可能です。



国立国会図書館サーチ

キーワード: [検索欄] 検索

すべて 本 記事・論文 新聞 児童書 レファレンス情報 デジタル資料 その他 立法情報

「国立国会図書館サーチ」(NDL Search)は、国立国会図書館の新しい検索サービスです。国立国会図書館をはじめ、全国の公共図書館、公文書館、美術館や学術研究機関等が持つ豊富な「知」を活用したためのアクセスポイントとなることを目指しています。2012年1月6日に正式サービスとなりました。

- 国立国会図書館サーチの機能については、機能概要のページをご覧ください。
- 検索サービスなど国立国会図書館の各種サービスをお申込の方は、あらかじめ「ログイン」をしてから検索してください。「ログイン」ボタンはページの右上にあります。

① 図書館からのお知らせ

- 【解消のお知らせ】一部ブラウザによるNDLサーチへのアクセス不具合について (2012-03-15 16:06)
- 障害復旧のお知らせ (3月14日 14時00分現在) (2012-03-14 13:59)
- 国立国会図書館サーチ障害発生のお知らせ (3月14日 6時00分現在) (2012-03-14 09:00)
- システムメンテナンスのお知らせ (2012/3/14 20:00~23:00) (2012-03-08 10:12)

### 3. 統計資料

#### 3.1 統計資料とは

統計資料とは、ある現象を数量的に把握するための統計データを収録した資料です。統計資料は、官公庁、民間企業など多くの機関からさまざまな種類のものが発行されており、最近ではその多くがウェブで公開されています。ここでは日本国内の統計の探し方を中心に学習します。

#### 3.2 統計活用のメリット

統計を活用すると、数値によって客観的に物事を表現する（伝える）ことができるので、レポートの説得力を増すのに役立ちます。また、統計を表にまとめたりグラフに加工することで、物事の全体像や特徴を読み取ることもできるでしょう。そこで疑問に思ったことがレポートの問題提起や着眼点のヒントに繋がることもあります。

#### 3.3 統計の特徴と注意点

一言に「統計」と言っても、統計の調査背景、母体、対象、地域、時期などによって様々なものがあります。自分の研究内容に適したものなのか、また信頼できる情報かどうか、常に意識して探すように心がけましょう。

調査主体・発行元	公的統計 : 国の行政機関・地方公共団体が作成する統計。ウェブで公開されているものも多い。政府の公式調査報告である「白書」にも多くの統計が掲載されている。
	民間統計 : 各種業界団体や民間調査会社が作成する統計。
加工のレベル	1 次統計 : データの調査機関が作成した、オリジナルの統計。
	2 次統計 : 1 次統計を加工・編集したもの。
調査期間	短期統計 : 月単位など。短い期間で発表される。
	中期統計 : 数年単位など。
	長期統計（累積統計）: 経年変化を調べるのに適している。
調査時期	現在の統計: ウェブ等で公開されていることが多い。
	過去の統計: 冊子体での検索が必要な場合が多い。
メディア（媒体）	電子媒体 : ウェブ、データベース、CD-ROM 等。
	紙媒体 : 印刷物。
エリア	国内 : 政府（全国）、地方公共団体（地域）等。
	海外 : 各国の政府統計局、国連、OECD、EU、ASEAN 等。



「何を調べたいか」によって  
ベストな「探し方」「ツール」が変わってきます！

・「統計はウソをつく」？

統計は、客観的なデータとして幅広く利用されていますが、作成者が恣意的にデータを誇張して表現していたり、悪気が無くても単純な間違いを含んでいる場合や、読み手が誤解しがちな表現がされているものもあります。

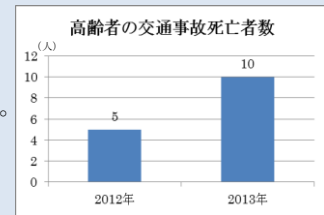
### 【例： 高齢者を取り巻く事故・事件の増加について－新聞の統計情報から－】

※（架空のデータ）

#### ケース① 見出し：「高齢者 交通死増加：前年同期比 2 倍」

よく読むと・・・ 昨年：5 名、 今年：10 名 （右図）

→ 確かに倍増しているが、「急増」とは言えない。偶然とも考えられる。  
事故の原因・状況や 2011 年以前の件数等も確認が必要。



#### ケース② 見出し：「高齢者の万引き、20 年連続で最多更新」

→ 高齢者の数も年々増加し続けている。「犯罪に手を染める高齢者が増えている」と論じるには、高齢者人口あたりの事件数や、強盗・放火など他の犯罪の発生状況も調べる必要がある。

また、政府と民間とで行われた同種の調査では、結果が異なる場合があります。

統計に限らず、資料を利用するときは、その数値や記述だけを見るのではなく、1 次統計の目的や対象、調査の方法、参考になっている資料などにも極力目を通し、恣意的な、または紛らわしい表現に惑わされないようにしましょう。同種の資料をいくつか比較検討することによって、研究対象への理解が深まることもあります。

・出典を明記する

入手した統計を引用・加工した場合（データをもとにグラフを作成したり、複数の統計情報を一つにまとめたりした場合）も、必ず出典を明記しましょう。どこから引用したのかが曖昧な情報では信頼性に欠けます。読み手が情報源を確認できるようにするのがマナーです。

引用の方法は  
第7章で学習します。



## 4. 統計資料の探し方

### 4.1 統計を探す手順

統計を探す流れとしては、まず索引やガイドブック、2 次統計書で必要なオリジナルの統計（1 次統計）を特定した上で、入手する方法を確認するのが効率的です。

官公庁の統計資料や白書類、どこにどのような統計があるか目星がある程度ついている場合は、ダイレクトにその作成元、研究機関等のウェブサイト（データベース）を検索してもよいでしょう。

## ①どのような統計があるか、どの資料に載っているかを調べる

### ◆索引・ガイドブック

どのような統計調査が実施されているのか、その調査結果が何に掲載されているのかわかります。

【例】・・・「e-Stat」『統計情報インデックス』『白書の白書』など

### ◆2次統計（2次資料）

1次統計（オリジナルの統計）を加工・編集したものを2次統計と呼びます。1次統計を参照しなくても大まかな情報が入手できるという便利さがある一方、どのような加工・編集がなされているかをきちんと知った上で利用する必要があります。

また、信頼性の高いデータであれば、出典である1次統計の資料名が載っています。より詳しい情報が記載されていることもありますので、レポートや論文の参考文献として用いる場合は、1次統計を確認するようにしましょう。

【例】・・・『日本統計年鑑』『日本の統計』『世界の統計』など

## ②入手方法を確認する

おおまかに、どのようなものがあるかが掴めたら、1次資料の入手方法を考えます。

### ◆ウェブで入手可能か

国や自治体で行う統計調査は、ウェブ上で公開されていることが多いです。（最新の統計のみをウェブで公開している場合もあります。）自分の関心のあるテーマについて管轄している省庁・研究している機関が統計資料を公開していないか調べてみるとよいでしょう。

【例】・「e-Stat」（<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>）

政府が行っている統計の情報が集約されています。（4.2 参照）

・「統計局ホームページ」（<http://www.stat.go.jp/>）

『国勢調査』や、総合的な内容の『日本統計年鑑』『日本の統計』『世界の統計』など、代表的な統計データそのものを入手できるものもあります。

### ◆図書館に所蔵はあるか

ウェブで入手できなくても、図書館に印刷物（冊子体）として所蔵している場合も多くあります。探すときは、OPAC を使います。雑誌論文を探すときと同様に、掲載している図書や雑誌のタイトルで検索します。

※タイトルに「統計」「白書」「要覧」「データ」「資料」「月報」「年報」「報告」などの言葉が含まれることも多いので、うまく検索できないときにはこれらのワードとテーマ（分野・業界）に関するキーワードをかけあわせて検索してみましょう。

また、東北大学附属図書館本館の場合、「経済統計コーナー」や「レファレンスコーナー」に統計資料や索引・ガイドブック等が置かれているので、このエリアをブラウジングするのも効果的です。

## 4.2 統計を探してみよう

例：政府統計の総合窓口（e-Stat）（<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>）

「e-Stat」は、各省庁が公表する統計データを1つにまとめた政府統計のポータルサイトです。

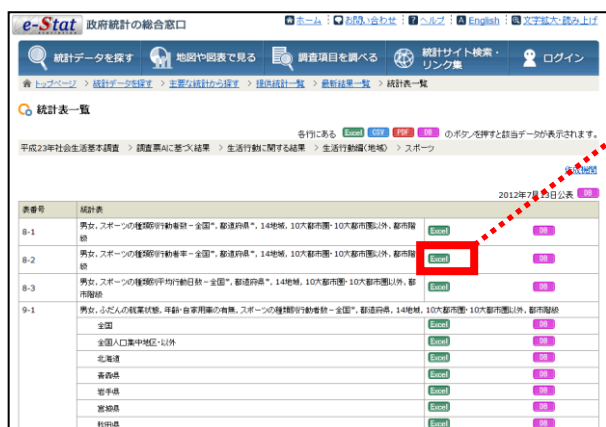
トップページの「主要な統計から探す」をクリックし、次に表示される統計名一覧から、目的の統計、知りたい項目、時期を選択します。また、「政府統計全体から探す」をクリックすると、所轄の省庁名や分野から検索できます。表示された一覧表から、目的の統計表を選び、「Excel」や「PDF」のボタンをクリックすると、データをダウンロードできます。

統計調査の名前が分からない場合は、「キーワード検索」を使って知りたい統計に関する言葉や時期、調査を実施している機関等の条件を指定することも可能です。



### 統計データを探す

所管の省庁、統計の分野、統計名から絞り込んで検索できます。キーワードや条件による検索も可能です。



Excel CSV PDF DB のボタンを押すと、該当データが表示されます

第17表 男女、スポーツの種別別参加率等（全国）※単位：％、10万人当たり、10万都市圏、10万都市圏以外、都市圏

Table 17 Participation Rate in Sports by Sex, Age, and Sport Type (Japan)※Unit: %, 100,000 Persons, 100,000 Metropolitan Area, Non-100,000 Metropolitan Area, City Group

項目	性別	年齢	種別	参加率（％）									
				全国	10万都市圏	10万都市圏以外	都市圏	非都市圏	大都市圏	中大都市圏	小都市圏	農村部	山間部
男子	15歳以上	総計	総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			スポーツ	45.5	45.5	45.5	45.5	45.5	45.5	45.5	45.5	45.5	
			球技	15.2	15.2	15.2	15.2	15.2	15.2	15.2	15.2	15.2	
			水泳	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
女子	15歳以上	総計	総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
			スポーツ	35.2	35.2	35.2	35.2	35.2	35.2	35.2	35.2	35.2	
			球技	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	
			水泳	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	

## 5. レポートで使うコツ

目的の新聞記事や統計をみつけたら、レポートにどのように取り入れるかを考えます。

- ・引用する・まとめる・グラフ化する

新聞記事や統計から得た数値をレポート本文に追加したり、統計表から読み取れる特徴

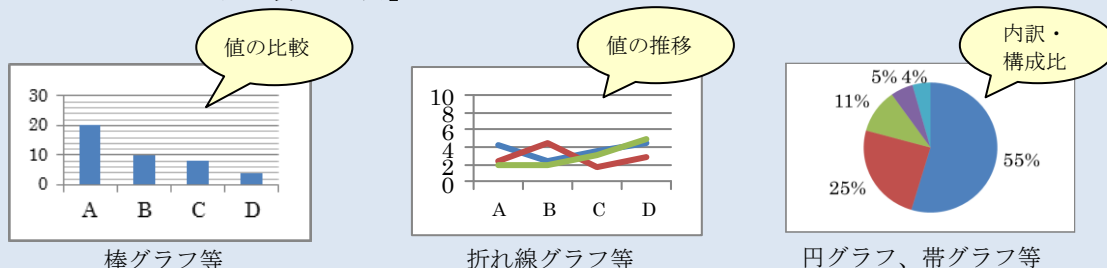


をまとめてみましょう。

「e-Stat」などでみつけた統計表は、必ずしも、自分がレポートで使いたい形態と一致しているとは限りません（例えば、統計表では年齢別・全世代の数値が記載されているが、レポートで使いたいのは10代の数値のみ、ということもあるでしょう。また、数年分の統計表を1つにまとめて推移を表現したい、など）。必要に応じて、該当する項目について図表を作成したり、数種類の統計を組み合わせるなど、重要な情報を抜粋し編集することで、読み手にわかりやすく表現してみましょう。

グラフ化は情報（数値）を視覚的に表現することによって、伝えたい内容をアピールするのに適した方法です。同時に、自分がデータについて理解を深めるのにも役立ちます。強調して伝えたいポイントに合わせて、使用するグラフの種類を選びましょう。

### 【グラフの選び方・使い分けの例】



### 【統計情報利用の例】

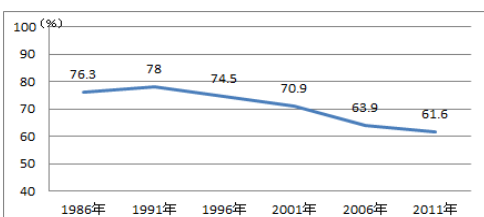
スポーツに取り組む人の数は年々減少している。特に団体で行うスポーツ、例えば野球やバレーボールにおける減少が著しい。



統計資料から得た情報をプラスする

総務省の調査<sup>(1)</sup>によると、1年間のうち最低1回、何らかのスポーツを行ったと回答した人の割合（スポーツ行動者率）は、過去25年間で1991年の78.0%をピークに、2011年まで低下し続けている。  
**(図1)**、**競** 図表に番号をつけ、本文と図表の番号を対応させる。  
スポーツは野球  
ボールが12.4%から3.5%と低下が著しい。

(図2)



**図1** スポーツの男女行動者率の推移（1986～2011年）

15歳未満を除く

タイトル

脚注

「社会生活基本調査」（総務省統計局）をもとに作成

#### 図表を使うときに気をつけること

- ・図表に番号とタイトルをつける。表の場合は表の上部、図の場合は図の下部に示す。
- ・タイトルで、「何」についての「どのような」ことを示す図表かを端的に表す。
- ・元データの引用を明示する（参考文献リストに詳細を記載）。
- ・図表に脚注をつける（脚注にも出典を記載する。自分で加工・編集した場合も必要）。
- ・（グラフの場合）単位、基数（100%にあたる実数）を記載する。

---

参考文献

- 1) 高崎みどり. 大学生のための「論文」執筆の手引き. 秀和システム, 2010, 287p.
- 2) 国立国会図書館. "国内の統計を調べるには". リサーチ・ナビ. [http://rnavi.ndl.go.jp/research\\_guide/entry/theme-honbun-102849.php](http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-102849.php), (参照 2014-2-27)

## 第4章 実習問題

### 新聞記事

**問題 1.** フードロス（まだ食べられる食品が大量に捨てられている社会問題）に関する最近の動向・NPO による支援の事例を集めたい。「聞蔵 II」を使って、6 ヶ月以内に掲載された記事を探してみましょう。また、掲載された新聞の情報も書き出してください。

使ったキーワード	
記事タイトル（見出し）	
新聞名	
発行日、朝夕刊、ページ等	

### 統計

**問題 2.** 問題 1 のテーマについて、関連する統計資料を探したい。「政府統計の総合窓口」（e-Stat）を使って資料を探してみましょう。

統計名	
統計を見て、新たに分かったことを自由にメモしましょう。	